

# **(仮称) 大牟田市総合体育館整備基本計画**

**令和2年3月**

**大牟田市**



---

## 目次

これまでの主な経緯	3
<b>序章 前提条件の整理</b>	
1. 計画予定地の概要	4
2. 関係法令の整理	6
3. 類似施設の状況	7
4. 市民の意向	8
5. (仮称)総合体育館整備の課題	11
<b>第1章 (仮称)総合体育館整備の基本方針</b>	
1. スポーツ拠点施設の必要性	12
2. 基本方針・基本コンセプトの整理	13
<b>第2章 (仮称)総合体育館整備の方向性</b>	
1. 整備の方向性	15
2. 市民体育館の現況	16
3. 複合化する施設の選定	21
4. 複合化する機能の選定	28
<b>第3章 (仮称)総合体育館の施設整備</b>	
1. 整備方針	31
2. 構造計画	34
3. 設備計画	34
4. 機能構成と規模	34
5. 施設規模の検証	36
6. 施設配置の検討	37

---

第4章 事業手法の検討	
1. 事業スキームの検討	39
2. 事業手法の選定	40
第5章 施設管理運営の方針	
管理運営の基本方針	41
第6章 事業計画	
1. 概算工事費の算定	41
2. 財源の整理	41
3. 事業スケジュール	42
第7章 体育館周辺整備の方針	
1. 市民体育館跡地整備の方針	43
2. 周辺道路・駐車場整備の方針	43

---

## これまでの主な経緯

### 市民体育館の現状と取り巻く環境

#### 【現 状】

市民体育館は、昭和 49 年の建築後、築 45 年以上が経過する中、建物の劣化が各所で進み、バリアフリー化が進んでおらず、また、指定避難所にもかかわらず旧耐震基準であること等の問題を抱えています。また、施設の老朽化や空調設備がないことなど、市民のスポーツ活動を支える施設として著しく利便性、快適性に欠けており、高齢者や障害者にも優しい施設が求められています。

#### 【取り巻く環境】

本市は、平成 2 年にスポーツ都市宣言を行うなど、スポーツを通して住みよいまちづくりを推進しており、市民体育館は、本市のスポーツ活動を支える主要な施設として長らく利用されてきました。このような中、少子高齢化とともに人口減少の進展もあり、競技スポーツをはじめ健康づくりやコミュニティの形成、子どもたちの健全育成や地域の活性化など、様々な効果が期待できるスポーツの振興にこれまで以上に取り組むことが大変重要です。スポーツ都市宣言の趣旨を実現し、将来に向けて持続可能なまちづくりを進めていくための環境づくりとして、安心・安全で快適な、そして身近で誰もが使いやすい総合体育館を整備し、スポーツを通じたまちづくりの拠点として最大限に活用することが必要です。



### (仮称)大牟田市総合体育館の整備に関するこれまでの取組み

#### 【平成 26 年度】 「(仮称)大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査」

市民体育館の取り巻く環境等を整理し、課題等を踏まえたうえで建て替えする場合の候補地と機能や規模について検討。

#### 【平成 28 年度】 「(仮称)大牟田市総合体育館建設に係る交通量調査解析」

候補地であった延命公園と諏訪公園における交通処理計画や渋滞予測などの検討。

#### 「(仮称)大牟田市総合体育館建設に向けての市民ワークショップ」及び「市民意見募集」

一般公募や高校生など 49 名の参加者によるワークショップを行い、目指す姿や機能、規模に関する市民の意見を集約し、併せてメールなどにより広く意見を募集。

#### 【平成 29 年度】 「(仮称)大牟田市総合体育館民間資金等活用事業導入可能性調査」

整備手法の一つである PFI 等民間資金導入事業の可能性についての調査、検討。

## 序章 前提条件の整理

### 1. 計画予定地の概要

計画予定地が含まれる延命公園エリアは、市の中心部に位置する丘陵地を活かした都市計画公園です。公園は風致地区（第3種）に指定され、丘陵地の緑豊かな景観が保護されるとともに、高台に位置して地盤も安定していることから、防災上の安全性が高い場所です。

アクセスは、徒歩圏内にJR鹿児島本線、西鉄天神大牟田線が乗り入れる大牟田駅が位置し、敷地内には路面バスの停留所が設置されるなど、公共交通の便が良い立地です。

また、西側には主要な幹線道路である国道208号が位置し、車両でのアクセスも容易です。

### 【計画予定地の概要】



所在地	福岡県大牟田市宝坂町2-92	
都市計画区域他	都市計画区域内（市街化区域）	
防火地域	法22条区域	
地域地区	第1種中高層住居専用地域 片平山風致地区（第3種）	
都市施設	都市計画公園（延命公園）	
敷地面積	16.5ha（供用面積）	
容積率	150%	
建ぺい率	40%	
その他	都市計画道路計画あり（3・4・21-17浄真町吉野線）	
災害	土砂災害危険区域	なし
	津波浸水想定	なし

延命公園及び周辺エリアは、年間約23万人の来園がある大牟田市動物園をはじめ、市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、延命プールといった多くの公共施設が集積し、スポーツ・レクリエーションの中心地として、市内外から多くの方々が訪れる地域となっています。

また、令和3年の春には地元出身の絵本作家をテーマとした「ともだちや絵本美術館」が開設される等、総合体育館の整備と併せて地域の更なる魅力向上が期待されます。

### 【延命公園エリアの現況】



①市民体育館



②第二市民体育館



③延命球場



④御大典記念グラウンド



⑤延命プール



⑥お花見広場



⑦大牟田市動物園



⑧ともだちや絵本美術館 (予定)



---

## 2. 関係法令の整理

総合体育館建設に関連する主な法規制について整理します。

### (1) 建築基準法

総合体育館の計画予定地は、現市民体育館と同じ延命公園内を想定しています。計画予定地は第一種中高層住居専用地域であり、この用途地域内に建築可能な建物用途に体育館等は該当しません。よって、当該計画地に体育館を建築するためには、建築基準法（以下「法」という。）第48条に基づく建築物の用途の制限の緩和許可を事前に取得する必要があります。許可に当たっては次の事項について特定行政庁から認められ、利害関係者から公開で意見聴取し、建築審査会の同意を得る必要があります。

- ・良好な住居の環境を害する恐れがないと認められること。
- ・公益上やむを得ないと認められること。

### (2) 都市計画法（風致地区における建築等の規制に関する行為届出等）

延命公園は風致地区に設定されているため、「大牟田市風致地区内における建築等の規制条例」に基づき、建築高さ、建ぺい率、外壁の後退距離、緑地率や建築物の色彩など周辺環境との調和に配慮する必要があります。

### (3) 都市公園法（都市公園における建ぺい率や施設の設置基準等の確認）

都市公園法により、公園内に設置する施設は公園施設に該当する必要があります。体育館等は公園施設に該当しますが、今後検討する中で他の機能を整備する場合は公園施設の設置基準に整合させる必要があります。

### (4) 景観法（景観計画に基づく行為届出等）

「大牟田市景観計画」に基づき、配置、規模、形態、色彩、緑化等に配慮した計画とする必要があります。

### (5) その他の法令

その他の関連する法令、規制についても遵守した計画とします。

- ・駐車場法
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
- ・福岡県福祉のまちづくり条例
- ・その他、関連法令等

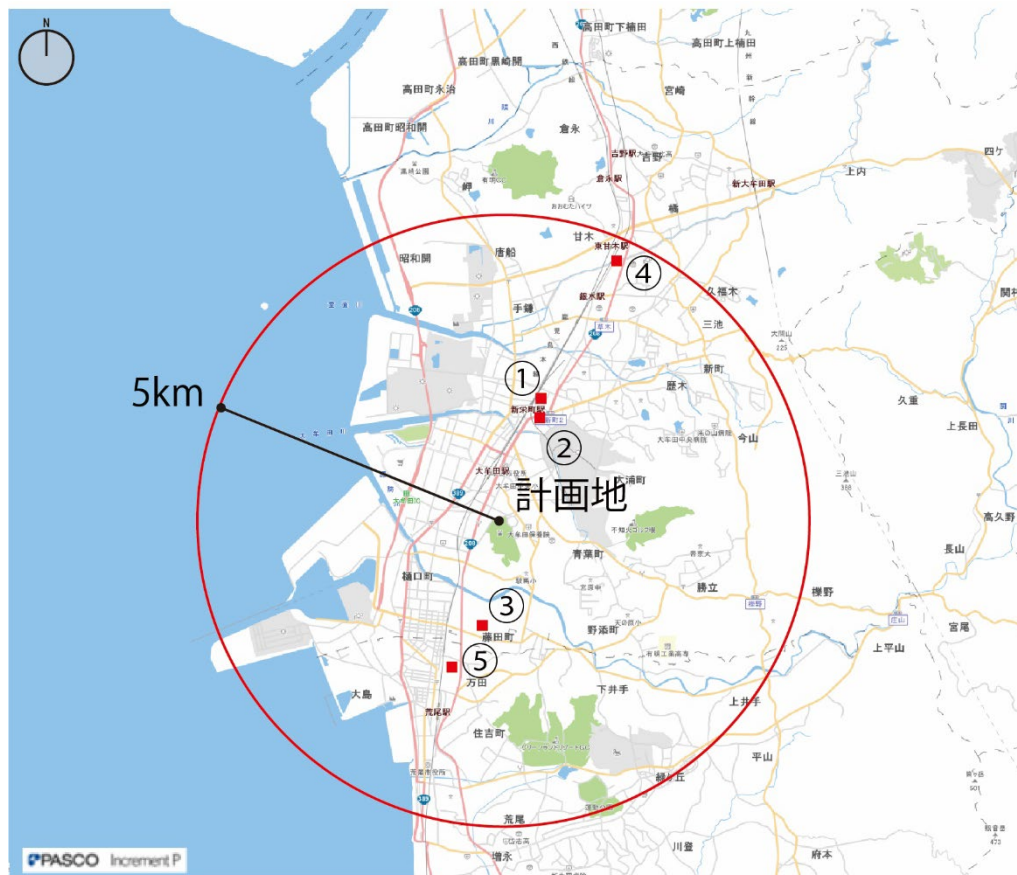


### 3. 類似施設の状況

#### 周辺民間スポーツ施設の現況

総合体育館の計画地を中心に半径5kmを体育館の経済圏と想定した場合、総合体育館の整備に関連する民間施設はスポーツジムが5件あります。スポーツジムは主にトレーニングジム、スタジオ、プールという施設構成です。

現在、公共のスポーツ施設と民間のスポーツ施設の機能は市民のニーズに応じた棲み分けができていていると考えられますが、総合体育館の計画に当たっては、民間スポーツ施設の機能分担に配慮した検討を進める必要があります。



	施設名	主な施設内容
①	ブリジストンスポーツアリーナ大牟田	トレーニングジム、スタジオ、プール
②	ホリデイスポーツクラブ大牟田店	トレーニングジム、スタジオ、プール、温浴施設
③	トリムパーク フィットネスクラブ	トレーニングジム、スタジオ、プール、ゴルフプラザ、フットサルコート
④	ワールドプラスジム大牟田店	トレーニングジム
④	エニタイムフィットネス有明プラザ店	トレーニングジム

#### 4. 市民の意向

##### (1) (仮称) 総合体育館建設に向けてのワークショップ実施報告書より

(平成28年9月11日～11月6日全4回実施)

##### 【新体育館の目指す姿】

分類	新体育館の目指す姿
スポーツ活動の場 体力づくり・健康づくりの場	・スポーツ活動の場だけでなく、医療・介護費用等の抑制のためにも、市民の体力づくりや健康増進の役割を果たす体育館
トップレベルの大会の場	・子どもたちに夢を与え、また大牟田に人を呼び込むトップレベルのスポーツ大会、全国規模の大会やイベントが開催できる体育館
多機能・多目的な施設	・市民が気軽に集え、福祉や教育などさまざまな機能・多目的に使える体育館 ・災害時の避難場所として防災機能を備えた体育館
バリアフリー	・高齢者や障害者をはじめ誰にもやさしい体育館
整った設備環境	・施設の開放感や空調など、誰もが気持ちよく使える設備の整った体育館
利用(予約等)の利便	・予約システムの構築など誰もがいつでも、また使い勝手の良い体育館
駐車場の広さ、アクセスの良さ	・駐車場が広く、誰もが行きやすく、行きたくするような体育館

##### 【新体育館の機能と規模】

施設・室名	考え方・使い方	規模
<ul style="list-style-type: none"> <li>●メインアリーナ</li> <li>●サブアリーナ</li> <li>●選手控室</li> <li>●ウォーキングランニングコース</li> <li>●観覧席</li> <li>●武道場(柔道・剣道)</li> <li>●卓球場</li> <li>●トレーニングルーム</li> <li>●多目的室</li> <li>●会議室・研修室</li> <li>●キッズルーム</li> <li>●カフェレストラン(食堂)</li> <li>●大きめの備品倉庫</li> <li>●売店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなスポーツ大会、イベントに対応</li> <li>・1階アリーナに可動式、2階に3~4面固定席</li> <li>・選手にやさしい床</li> <li>・十分な照明、天井高の確保</li> <li>・帝京大学、福岡大学など、大学やさまざまな機関、団体と連携し適切な指導を受ける</li> <li>・スタジオとしても使用</li> <li>・視聴覚機器、スポーツ関連書籍の配置</li> <li>・安心して話せるようにスタッフの配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットコート2~3面</li> <li>バスケットコート1面</li> <li>1500席以上</li> <li>卓球台10台程度</li> </ul>

●バリアフリー化や空調などの設備を整え、高齢者や障害者にとって利用しやすい体育館、また、避難所として防災機能を備えた体育館とする。

●健康増進機能を備えることで、医療・福祉・介護費など市の財政負担を軽減する。

●サン・アビリティーズおおむたやリフレスおおむたなどの類似施設や延命庁舎などの既存施設を統合し、公共施設管理運営計画との整合性を図る。

(2) (仮称) 総合体育館建設に係る市民意見募集の結果について

(平成 28 年 12 月 15 日 ～ 平成 29 年 1 月 16 実施)

分 類	市民の意向
<p>新体育館の 適切な規模について</p>	<p><b>【現在より大きい体育館】</b>  <input type="checkbox"/>サブアリーナ有  <input type="checkbox"/>全国レベルやプロの大会ができる体育館  <input type="checkbox"/>他都市から人が来るような体育館  <input type="checkbox"/>今より大きい体育館</p> <p><b>【現在より小さい体育館】</b>  <input type="checkbox"/>サブアリーナ無  <input type="checkbox"/>身の丈に応じた体育館</p> <p><b>【その他】</b>  <input type="checkbox"/>イベントの頻度により施設規模の検討が必要</p>
<p>新体育館に求める機能 について</p>	<p><input type="checkbox"/>空調設備の設置  <input type="checkbox"/>使いやすいシステム（WEB予約など）の導入  <input type="checkbox"/>トレーニングルームの充実  <input type="checkbox"/>トイレの充実  <input type="checkbox"/>プロの大会を開催するために必要な移動観覧席を含めた観覧席の増設  <input type="checkbox"/>キッズルームの充実  <input type="checkbox"/>バリアフリー化  <input type="checkbox"/>照明の充実  <input type="checkbox"/>シャワーの充実  <input type="checkbox"/>レストランの充実  <input type="checkbox"/>スポーツ器具  <input type="checkbox"/>更衣室の充実  <input type="checkbox"/>売店  <input type="checkbox"/>保健室  <input type="checkbox"/>防災機能  <input type="checkbox"/>室内ランニングコース  <input type="checkbox"/>宿泊機能  <input type="checkbox"/>温泉施設</p>
<p>類似施設やほかの 公共施設との複合化等 について</p>	<p><b>【統合について】</b>  <input type="checkbox"/>サンアビリティーズおおむた  <input type="checkbox"/>リフレスおおむた  <input type="checkbox"/>延命庁舎</p> <p><b>【存続について】</b>  <input type="checkbox"/>サンアビリティーズおおむた（フットサル施設がなくなる）  <input type="checkbox"/>リフレスおおむた</p>

分類	市民の意向
体育館建設のあり方 についてのその他の意見	<input type="checkbox"/> 民間企業との共同建設、共同運営 <input type="checkbox"/> スポンサー収入を得るための対策 <input type="checkbox"/> 新体育館の建築費用と現体育館の改修費との比較を行う <input type="checkbox"/> 学校施設などの利用により総合体育館の必要性はない
全国レベルの大会、 プロの大会を開催	<input type="checkbox"/> 大規模大会、興行などを誘致する <input type="checkbox"/> 大会開催により、他市から人の流入を促す
医療・福祉と連携した 健康増進機能	<input type="checkbox"/> 健康増進を延伸するための取組みを行い、医療費、介護費用の削減を図る
スポーツ以外の使用	<input type="checkbox"/> 講演会、式典、物産展、コンサートなど文化イベントでも利用可能とする <input type="checkbox"/> スポーツ関係者のためだけの施設にはしない
その他	<input type="checkbox"/> 体を動かす交流の場とする <input type="checkbox"/> 全国レベルの大会を行うことは無理がある <input type="checkbox"/> バリアフリー化により障害者スポーツを実施する <input type="checkbox"/> フットサルができる体育館とする
新体育館における ランニングコストについて	<input type="checkbox"/> 移動観客席等使用について利用者負担を徴収し、収入を上げる <input type="checkbox"/> 太陽光発電、雨水ろ過装置などを設置し、光熱水費を減らす <input type="checkbox"/> 建設費（建物面積）を減らしランニングコストを削減する <input type="checkbox"/> 大規模な大会における観戦料をランニングコストに補填する <input type="checkbox"/> 使用料金は据え置く
建設場所について	<b>【建設場所】</b> <input type="checkbox"/> 諏訪公園 <input type="checkbox"/> 延命公園 <input type="checkbox"/> 生涯学習支援センター <input type="checkbox"/> 船津中学校跡地 <input type="checkbox"/> 中心市街地活性化との相乗効果から松屋跡地等 <b>【その他】</b> <input type="checkbox"/> 駐車場の確保ができるところ <input type="checkbox"/> 交通アクセスが良いところ
建設に当たって特に配慮 を要する事項やポイント についての意見	<input type="checkbox"/> 企業・組織・団体・行政等がコラボして取り組む <input type="checkbox"/> 市民協働の視点に立ったまちづくりの視点で進めてほしい <input type="checkbox"/> 市民との会話（議論）を続けてほしい <input type="checkbox"/> 高齢者等がアクセスしやすいように巡回バスを運行する <input type="checkbox"/> 一般公募により体育館の名称を決定する

---

## 5. (仮称) 総合体育館整備の課題

前提条件で示された現況や市民の意向を踏まえ、総合体育館の整備に係る課題を整理します。

### ●市民のスポーツ活動や健康増進の拠点

- 競技スポーツをはじめ、多様なスポーツのニーズに対応できる環境の整備、情報提供、地域のスポーツ団体の活動支援
- 市民の健康づくりや体力づくりをサポートする環境整備

### ●見るスポーツ、見せるスポーツへの対応

- トップアスリートの大会や大規模な大会が開催できる施設整備

### ●生涯スポーツへの対応

- バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮するなど、市民の誰もが安心・安全にスポーツができる施設整備

### ●周辺環境と調和し、周辺施設と連携した魅力ある延命公園エリアの形成

- 地域の良好な住環境の維持と景観との調和に配慮した整備計画
- 周辺施設との連携による地域の魅力向上と活性化の推進

### ●機能の複合化による多様なニーズへの対応

- 他の既存施設の機能との複合化に伴い、福祉や市民活動等の多目的な利用に対応できる施設整備

### ●防災機能の整備や建物の安全性の確保

- 指定避難所として、地震をはじめ各種災害時に機能維持できる施設整備

---

## 第1章 （仮称）総合体育館整備の基本方針

### 1. スポーツ拠点施設の必要性

- 本市の人口は減少傾向にあるものの、過去20年間の市民体育館・第二市民体育館の利用率は比較的高い状況が続いています。
- 本市では高等学校における部活動が盛んで、全国的にも好成績を残しています。
- 本市では、平成2年に「スポーツ都市宣言」を行い、スポーツを通して住みよいまちづくりを推進しています。
- 本市は、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指しています。（大牟田市まちづくり総合プラン2016～2019）
- 本市は、市民の体力向上や健康づくりのためのスポーツの習慣化を促すために、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援のしくみづくり、スポーツがしやすい環境づくりを目指しています。（大牟田市まちづくり総合プラン2016～2019）
- レクリエーションゾーンの中核施設として、延命公園エリアの周辺施設と連携し、地域の魅力づくりに貢献することが望まれています。

以上のことから、総合体育館整備は、現状のスポーツ活動の維持だけでなく、スポーツ活動を更に発展させることで、本市のまちづくりを推進する原動力となることが求められており、そのためには、地域に波及効果をもたらすポテンシャルを備えたスポーツ拠点施設の整備が必要です。

---

## 2. 基本方針・基本コンセプトの整理

総合体育館整備の前提条件を踏まえ、施設整備に向けた基本的な考え方を整理します。

### 【基本的な考え方】

#### 基礎調査、ワークショップ等の意見

- スポーツ活動や健康づくり体力づくりの場
- プロスポーツをはじめトップレベルの大会の開催

#### 更なるスポーツ施設の充実

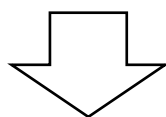
- 「観る」スポーツ機会の拡大
- 競技スポーツのための環境整備
- アダプテッドスポーツ(※)など、幅広い層への魅力あるスポーツ機会の提供
- 多様化するスポーツニーズへの対応
- 地域のスポーツ活動を支える環境整備

#### 公共施設の複合化

- 第二市民体育館の機能の確保
- サン・アビリティーズ大牟田の複合化に伴う障害者の文化・体育活動の拠点の形成
- 労働福祉会館の廃止に伴う会議室の確保

#### 市の施策に係る利用

- 高齢者をはじめとした健康づくりの場
- スポーツに馴染みのない子ども（大人）たちへスポーツの楽しさを伝える場づくり
- 延命公園の魅力向上やスポーツツーリズム等による交流人口の拡大
- 延命公園エリア全体を取り込んだスポーツ活動の展開とサポート機能の整備
- 防災施設機能（指定避難所）



※アダプテッドスポーツとは、障害者、高齢者、子ども、女性等が参加できるようにルール等を修正、創作した運動やスポーツ全般を表す総称。

---

基本的な考え方を踏まえて、施設整備の基本的な方針を定めます。

**【基本的な方針】**

**■スポーツ拠点機能の更なる拡充**

【これまでのスポーツ活動に加え、更なるトップレベルの大会誘致や新たなスポーツ施策の展開】

**■市民（特に高齢者）の健康づくり、体力づくりの拠点**

【健康面や体力面に効果のある運動ができる拠点】

**■運動、スポーツのきっかけづくりの発信地**

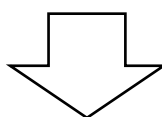
【楽しみながら気軽に参加できる運動、スポーツを体験できる場】

**■多目的利用による新たな交流の場（障害者、市民活動）**

【障害者をはじめ、様々な市民活動が集うことで、それぞれの理解や活動の拡がりにつながる】

**■延命公園の魅力向上**

【動物園や絵本美術館、延命公園などと連携した取組みによる交流人口の拡大】



基本的な方針より、体育館整備の基本コンセプトを設定します。

**【基本コンセプト】**

**『スポーツや運動を通じて ひとを健康に、まちを元気にする  
緑に囲まれた総合体育館』**



---

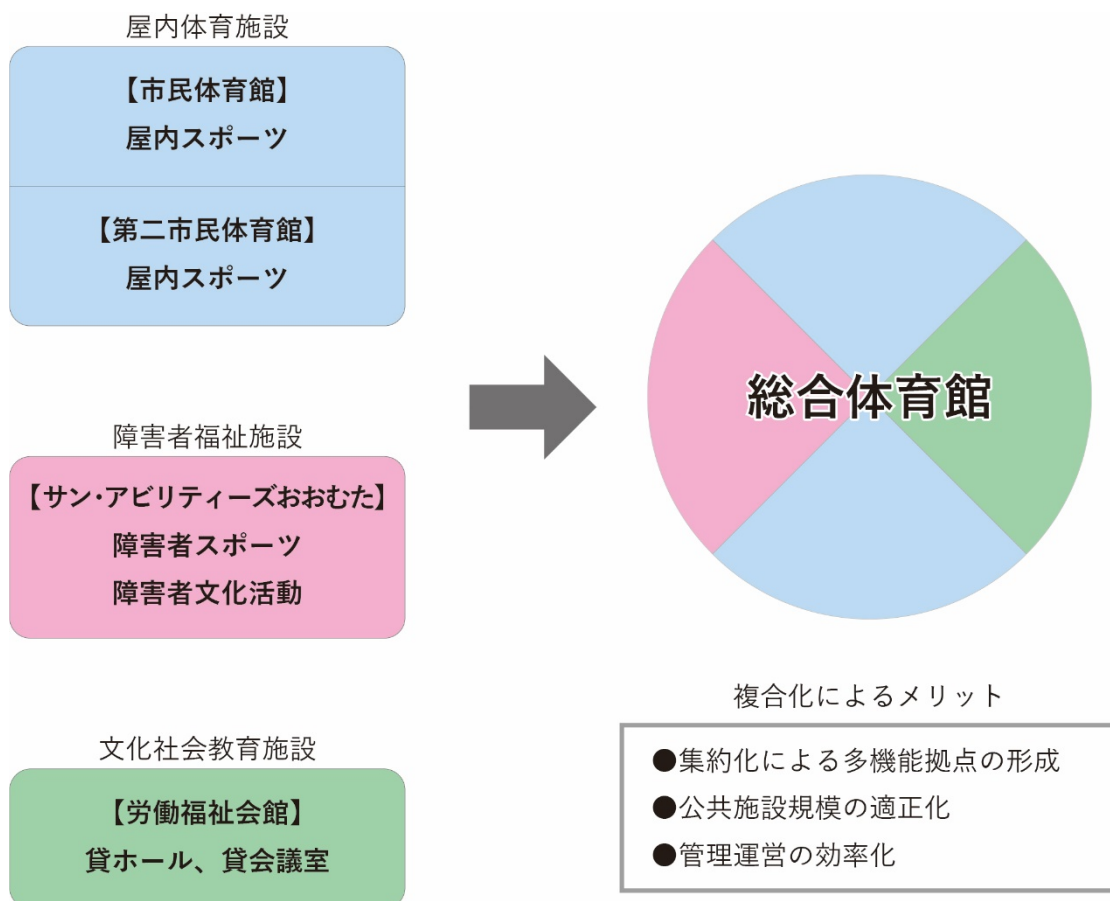
## 第2章 (仮称) 総合体育館整備の方向性

### 1. 整備の方向性

整備の基本コンセプトに基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、分散している他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成します。

整備に当たっては「大牟田市公共施設維持管理計画」に基づき、中長期的な視点に立った規模の適正化と他施設機能の複合化による機能整理を進めることで、効果的な管理運営を目指します。

#### ●施設機能の複合化



## 2. 市民体育館の現況

### (1) 施設の現況

大牟田市の屋内スポーツ活動・市民の健康推進の拠点施設として昭和49年9月8日に開設され、公式バスケットボール2面規模のアリーナ、柔道場、剣道場、卓球場等に加え、900席以上の観覧席を備えています。

建設から45年が経過して老朽化が著しく、耐震性能、設備機能、バリアフリー化への対応などに多くの課題を抱えている状況です。

#### 【建物概要】

所在地	大牟田市宝坂町2丁目86番地
構造	鉄筋コンクリート3階建 競技場屋根鉄骨造
敷地面積	5,049.12m <sup>2</sup>
建物規模	体育館：5,944.18m <sup>2</sup> 機械室：225m <sup>2</sup> 別棟倉庫室：168m <sup>2</sup> 合計 6,337m <sup>2</sup>
開館	昭和49年9月8日（令和元年9月で築45年経過）

#### 【主な諸室】

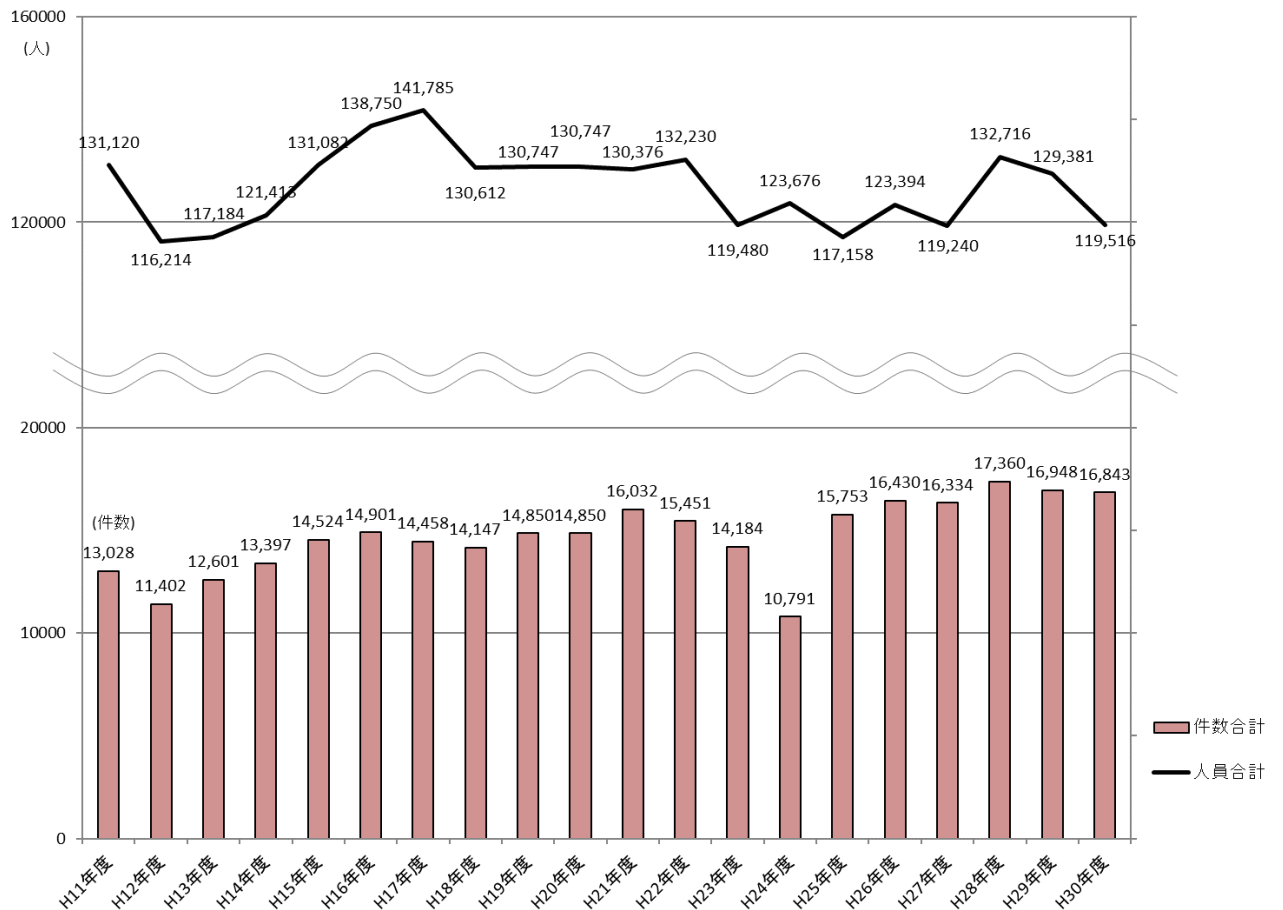
部門	室名	面積 (m <sup>2</sup> )	用途
競技部門	アリーナ (約47m×38m)	1,786	バスケットボール (2面) バレーボール (3面) ・ テニス (2面) バトミントン (12面) ・ ハンドボール (1面)
	柔道場	277	
	剣道場	245	
	卓球スペース兼多目的ラウンジ	412	
	トレーニング	169	
競技附属部門	会議室・研修室	139	
	更衣室	102	
	シャワー室	38	・男女別
観覧部門	固定観覧席	752	・462×2=924席
	放送室	15	
管理部門	事務室・応接室・医務室・給湯室	184	
	機械室	323	うち、別棟225m <sup>2</sup>
	倉庫	501	うち、別棟168m <sup>2</sup>
共用部門	エントランスホール・ロビー	384	
	幼児室	29	
	トイレ	161	
	廊下・階段	822	
合計		6,337	うち、別棟393m <sup>2</sup>

## (2) 利用の状況

過去20年間の利用者数はおよそ120～140千人で推移しています。本市の総人口が昭和34年から減少に転じているにもかかわらず、直近の5年間の利用者数を見ても最も利用人数が少なかった平成12年度を下回ることなく約120千人～130千人の範囲で推移しています。

利用件数は12,000～15,000件の範囲で推移していましたが、平成26年度から増加に転じ、直近5年間では16,000～17,000件で推移しています。

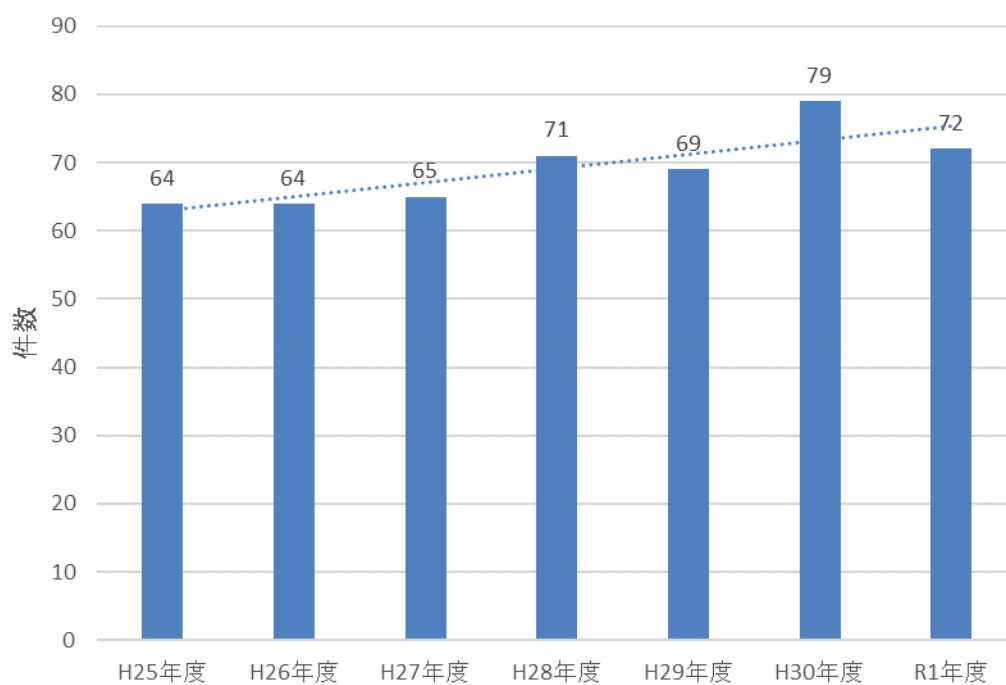
【利用者数、利用件数の推移】



### (3) 主なスポーツ大会の開催状況

平成25年度～令和元年度の主なスポーツ大会の開催の状況を見ると、年間60～80件開催され、近年増加傾向にあります。大会の開催が主に土曜日・日曜日を中心に行われることを考えると、年間を通じて週末は常にスポーツ大会が開催されている状況であることがわかります。

#### 【大会開催実績の推移】



【参考：令和元年度主なスポーツ大会の開催状況】

開催	スポーツ大会	開催	スポーツ大会
4月	大牟田市ハンドボール協会会長杯ハンドボールフェスタ 第1回大牟田市ハンドボール強化練習会	10月	秋のスポーツ教室 大牟田市中学校新人卓球大会 第66回大牟田市剣道選手権大会 第17回ムツゴロウ杯小学生バレーボール大会 第45回エヌシーみいけ親睦ママさんバレーボール大会 第21回Wリーグ大牟田大会
5月	第35回大牟田市近県中学生バレーボール大会 福岡県小学生ドッジボール大会第17回筑後杯 大牟田ライオンズクラブ旗争奪大蛇山カップミニバスケットボール大会 春のスポーツ教室 第18回会長杯卓球大会 第8回全九州クラブバスケットボール選抜大会 福岡県最終予選 第91回大牟田バドミントン大会		11月
6月	日立ハイテククーガーズバスケットボールクリニック 春のスポーツ教室 第23回大牟田市中央ライオンズ旗中学生女子バレーボール大会 大牟田市民ソフトバレーボール大会 第26回大牟田市卓球選手権大会 南筑後地区児童福祉施設地域交流交歓大会 空手界の明日のジョーをさがせ第5回九州選抜予選会 大牟田市老人クラブ体育大会 第7回大牟田市近郊レディース卓球大会 大牟田市中学校卓球大会 筑後のつどいバレーボール大会	12月	第40回大牟田市有明地区バドミントン大会 Winters Cup2019西日本グループ空手チャンピオンシップトーナメント 大牟田市スポーツ少年団体力テスト 第3回大牟田市ミックス・ダブルス卓球大会 第34回大牟田オープン小学生バドミントン大会 第32回大牟田体操教室発表会 平成31年度高校選抜剣道錬成大会 第25回大牟田市剣道連盟会長旗争奪高校剣道大会
7月	春のスポーツ教室 第7回大牟田市ミックス&シングルスバドミントン大会 第32回ミックスバレーボール大会 サマースポーツ教室	1月	第92回大牟田バドミントン大会 新春スポーツ教室 第26回新春卓球大会 第25回春季ママさんバレーボール大会
8月	第45回愛しと〜と九州ママさんバレーボール筑後支部予選大会 第2回大牟田市ハンドボール強化練習会 大牟田市バスケットボール協会会長杯夏季大会（高校の部） 第45回大牟田市民バドミントン大会 第24回大蛇山卓球大会	2月	新春スポーツ教室 大牟田市スポーツ少年団交流ドッジボール大会 第16回大牟田市近県小学生バレーボール大会 第23回大牟田市民卓球大会 大牟田リトル親子ふれあいインドアソフトテニス 第38回婦人防火クラブバレーボール大会
9月	第16回大牟田市ソフトバレーボール選手権大会 毎日新聞杯ミニバスケットボールエブリディズカップ 第54回筑後地区少年親善剣道大会 秋のスポーツ教室 第17回大牟田市オープンラージボール卓球大会	3月	第38回大牟田市クラブ対抗バドミントン大会 新春スポーツ教室 大牟田市民体育大会県大牟田市バスケボール総合選手権大会 第67回優勝弓争奪県弓道大会 大牟田市バスケットボール協会会長杯春季大会（高校の部） 西日本高専ハンドボール大会 第3回大牟田市ハンドボール強化練習会 第24回大牟田市近郊オープン卓球大会

※平成31年4月時点での予定

#### (4) トップレベルのスポーツ大会の開催実績

全国規模のトップレベルのスポーツ大会の開催実績をみると、毎年バスケット女子Wリーグが開催され、毎回1,000～1,800人の安定的な観客動員があります。また、平成25年に開催されたプレミアリーグ女子バレーの大会では2,000人以上の観客動員がありました。このことから市民の「観る」スポーツへの関心の高さが伺えます。

#### 【トップレベルのスポーツ大会の実績】

(人)

大会名	大会日	観客数	備考
第11回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H19	1,500	
第12回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H22	1,100	
第13回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H23.1.22	1,150	
第14回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H24	1,500	
第15回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H25	1,402	
V/プレミアリーグ女子バレーボール 大牟田大会	H25.3.23	2,500	役員等含む
第16回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H26.3.9	1,350	
第17回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H27.12.13	1,704	
第18回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H28.12.18	1,849	
第19回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H29.1.20	1,507	
第20回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	H30.12.8 12.9	2,843	2日間計
第21回バスケット女子日本リーグ Wリーグ 大牟田大会	R1.10.27	1,734	

---

### 3. 複合化する施設の選定

#### (1) 複合化対象施設と利活用の方針

複合化の対象とする公共施設は、「大牟田市公共施設維持管理計画」、地域性、需要、現施設の状況を踏まえて、次の施設とします。

##### ① 第二市民体育館

- 安定した利用があることから、利便性の向上、管理運営の効率化のため、総合体育館への複合化を検討します。

##### ② 労働福祉会館

- 廃止を基本として検討します。

##### ③ サン・アビリティーズおおむた

- 建物の老朽化の進行や他施設との機能の重複がみられるため、施設の統廃合を検討します。

凡例：●：「大牟田市公共施設維持管理計画」より

○：「第二市民体育館の現況等」より

#### (2) 機能複合化のメリット

- ① 総合体育館と他公共施設を複合化することで、これまで接点が少なかった施設間の交流を促したり、新しい連携が生まれる等、様々な相乗効果が期待できます。
- ② 多機能化により総合体育館の充実を図ることで、多様なニーズに対応できる魅力ある施設づくりが可能になります。
- ③ 総合体育館と他公共施設との複合化は地域における市民活動の拠点形成を促し、活気や賑わいを創出します。
- ④ 複合化により公共施設の効率的かつ効果的な管理運営が可能になり、維持管理費の削減が期待できます。

### (3) 複合化対象施設の現況

#### ① 第二市民体育館

建物用途	体育館
規模	地上2階
延べ面積	2194㎡
構造	鉄筋コンクリート造
完成年月日	1978年3月2日
運営方式	指定管理者

#### 【主な諸室】

- アリーナ：1,216m<sup>2</sup>  
(バスケットボール2面)
- 柔道場：208m<sup>2</sup>
- 剣道場：273m<sup>2</sup>

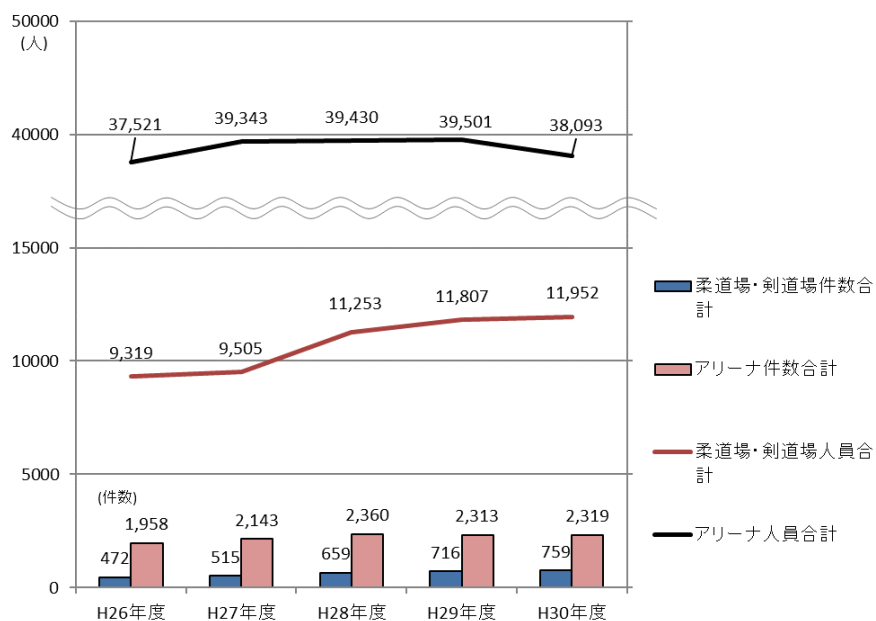
#### 1) 利用状況

利用者数の推移を直近5年間でみると、アリーナの利用者数は37,000人～39,000人でほぼ横ばい状態であるものの、柔道場、剣道場の利用者数は、平成27年度の約9,300人から平成30年度では約12,000人となり着実に伸びています。

利用件数も、アリーナ、柔道場、剣道場ともに増加しており、近年はアリーナが約2,300件、柔道場、剣道場が約700件となっています。

また、市民体育館と第二市民体育館を同時に利用する大会も多く開かれており、第二体育館の利用は多い状況です。

#### 【第二体育館利用の推移】



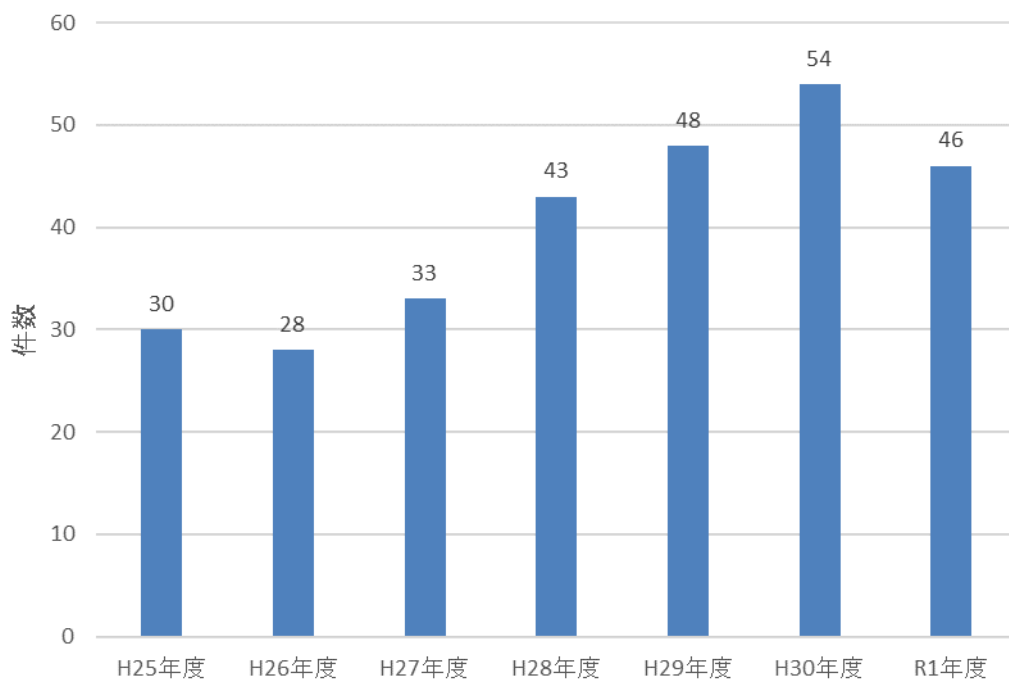


---

## II) 主なスポーツ大会の開催状況

平成25年度～令和元年度の主なスポーツ大会の開催の状況を見ると、近年開催件数が増加し、年間50件前後の開催となっています。大会の開催が主に土曜日・日曜日を中心に行われることを考えると、市民体育館同様、第二体育館も週末は、ほぼスポーツ大会が開催されている状況にあるといえます。

### 【大会開催実績の推移】



【参考：令和元年度主なスポーツ大会の開催状況】

開催月	スポーツ大会
4月	大牟田市バレーボール選手権大会 大牟田市社会人バスケットボールリーグ① 第1回ハンドボール練成会
5月	第35回大牟田市近県中学生バレーボール大会 福岡県小学生ドッジボール大会第17回筑後杯 大牟田ライオンズクラブ旗争奪大蛇山カップミニバスケットボール大会 春のスポーツ教室 大牟田市社会人バスケットボールリーグ② 第8回大牟田市ママさん親善バレーボール大会
6月	一級・二級・三級剣道審査会（前期） 春のスポーツ教室 第23回大牟田市中央ライオンズ旗中学生女子バレーボール大会 大牟田市社会人バスケットボールリーグ③ 大牟田市ママさんバレーボール連盟審判講習会 大牟田市学年別少年剣道大会 大牟田市中学校バスケットボール大会
7月	春のスポーツ教室 大牟田市社会人バスケットボールリーグ④ 筑後地区中学校バスケットボール大会
8月	第45回愛しと〜と九州ママさんバレーボール筑後支部予選大会 四級・五級・六級剣道審査会
9月	第31回全国家庭婦人バレーボールいそじ筑後支部予選大会 毎日新聞杯ミニバスケットボールエブリィレディースカップ 大牟田市子ども回第34回親善スポーツ大会（第13回ドッジボール大会） 秋のスポーツ教室 シニアバスケットボール大会
10月	秋のスポーツ教室 大牟田市中学校新人バスケットボール大会 第17回ムツゴロウ杯小学生バレーボール大会 大牟田市社会人バスケットボールリーグ⑤ 第3回ハンドボール練成大会
11月	大牟田市社会人バスケットボールリーグ⑥ 第33回ミックスバレーボール大会 秋のスポーツ教室 第50回青少年武道大会
12月	大牟田市社会人バスケットボールリーグ⑦ 第5回大牟田市ハンドボール練成会 一級・二級・三級剣道審査会 大牟田市中学校バスケットボール交歓大会 平成31年度高校選抜剣道練成大会
1月	第6回大牟田市ハンドボール練成会 新春スポーツ教室
2月	新春スポーツ教室 第16回大牟田市近県小学生バレーボール大会
3月	第7回ハンドボール練成会 新春スポーツ教室

※平成31年4月時点での予定

## ② 労働福祉会館

建物用途	文化社会教育施設
規模	地上4階
延べ面積	3,299 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
完成年月日	1978年3月1日
管理運営方式	大牟田市直営

### 【主な諸室】

- 会議室 A : 56m<sup>2</sup>
- 会議室 B : 17m<sup>2</sup>
- 和室 A : 10m<sup>2</sup>
- 和室 B : 13m<sup>2</sup>
- 講習室 A : 35m<sup>2</sup>
- 講習室 B : 35m<sup>2</sup>
- 研修室 : 83m<sup>2</sup>
- 中ホール : 208m<sup>2</sup>
- 大ホール : 613m<sup>2</sup>

### 1) 利用状況

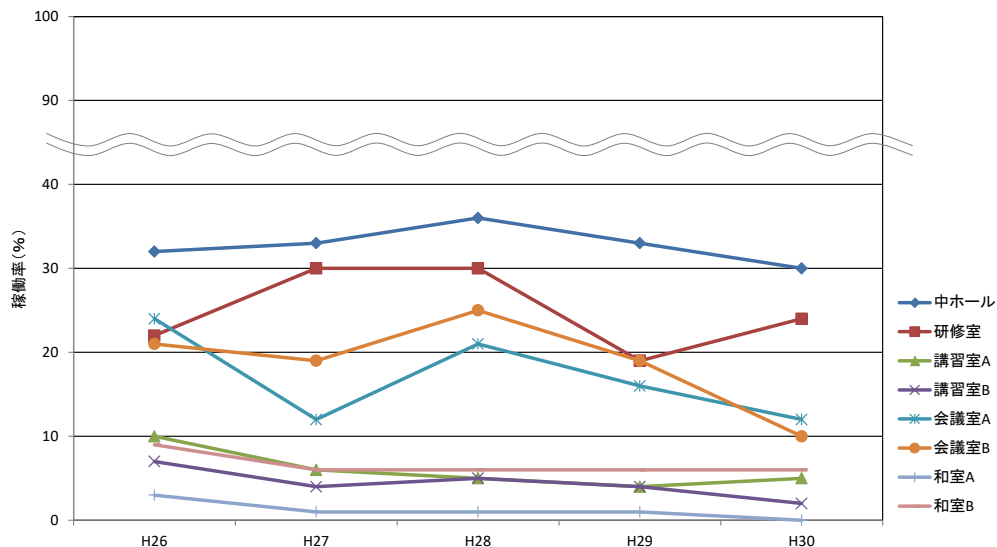
直近5年間の貸室の稼働率をみると、中ホールが30%以上で最も稼働率が高く、続いて研修室が20~30%、会議室A・Bが10~20%です。約200m<sup>2</sup>ある中ホールは周辺に同規模の施設がないため利用が多く、その他の会議・研修室では比較的に床面積の広い部屋(50m<sup>2</sup>以上)の稼働率が高いことがわかります。

また、和室形式である講習室A・B、和室A・Bの利用は低い傾向にあります。

その他、大ホールは現在、倉庫として利用されています。

中ホールの利用は会議、研修のほかに展示会などが多く、利用団体は一般利用に次いで公用(市)の利用が多い状況です。

### 【部屋別稼働率の推移】



### ③ サン・アビリティーズおおむた

建物用途	福祉施設
規模	地上1階
延べ面積	1,483 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造、 鉄骨造
完成年月日	1984年9月26日
管理運営方式	指定管理者

#### 【主な諸室】

- アリーナ : 736m<sup>2</sup>
- 教養文化室 : 56m<sup>2</sup>
- 多目的室 : 56m<sup>2</sup>
- 音楽室 : 41m<sup>2</sup>
- 研修室 : 67m<sup>2</sup>
- 相談室 : 20m<sup>2</sup>

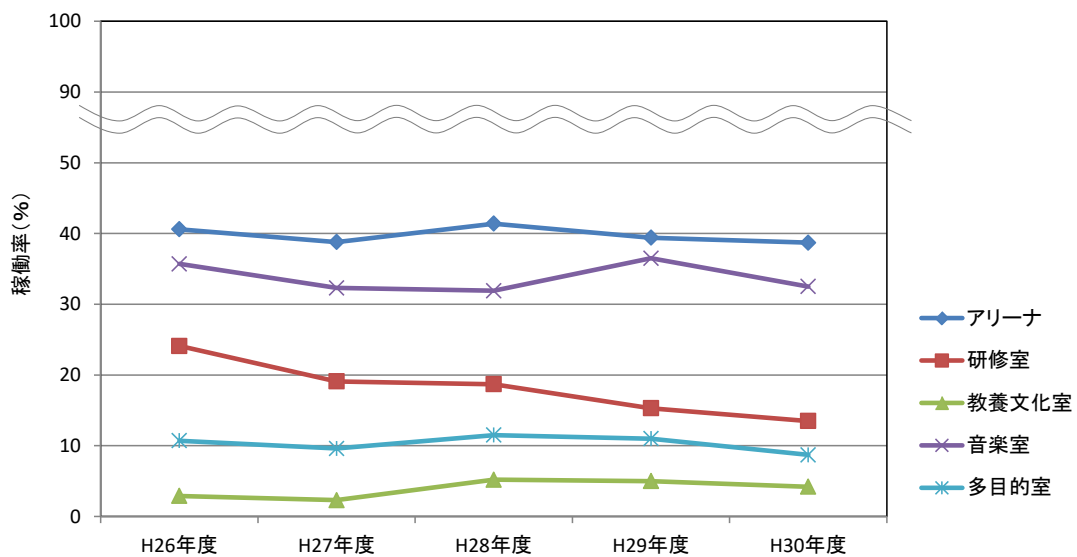
#### 1) 利用状況

直近5年間のアリーナ及び各諸室の稼働率をみるとアリーナが40%と最も高く、音楽室が30%、研修室、多目的室が10~15%となります。

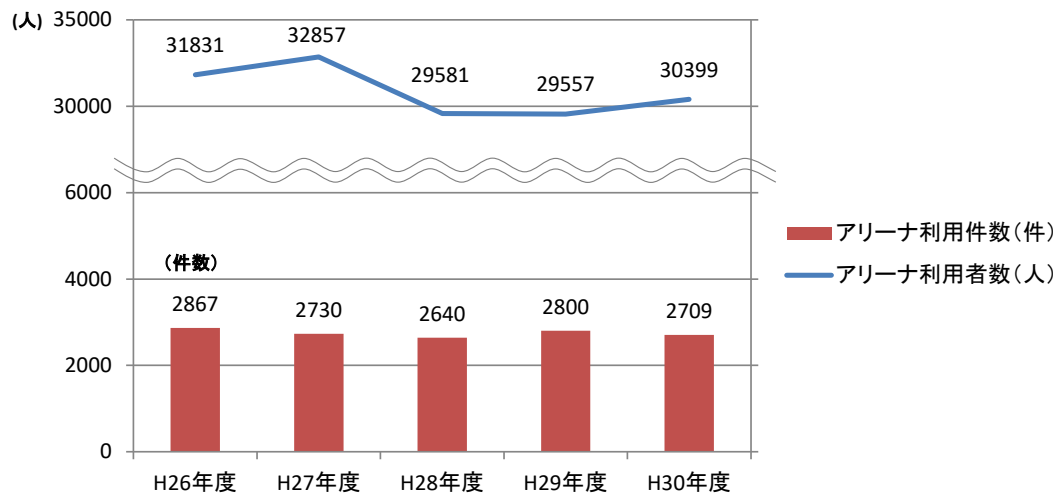
いずれの諸室の稼働率も安定して推移していますが、和室である教養文化室の利用は低いことがわかります。

アリーナの利用人数は、およそ30,000人、利用件数は2,700件前後で安定して推移しています。

#### 【部屋別稼働率の推移】



### 【アリーナ利用の推移】



各諸室の利用用途をみると研修室ではフォークダンスやスポーツダンス等、多目的な利用がされていることがわかります。

### 【各諸室の定期利用内容】

室名	利用用途
アリーナ	バドミントン、フットサル、ソフトバレー、卓球、アーチェリー、車いすテニス、風船バレー、ビーチバレー、エアロビクス、ダンス、バトントワリング、ボール遊び、散歩
研修室	フォークダンス、スポーツダンス、太極拳、会議
音楽室	カラオケ、大正琴、詩吟
多目的室	サウンドテーブルテニス、体操、子供連れの遊び場
相談室	相談業務、会議

---

## 4. 複合化する機能の選定

複合化の対象とした地域の公共施設の利用状況、周辺施設との機能分担等の観点から総合体育館に複合化する機能を選定します。

### (1) 第二市民体育館

利用状況からアリーナ、柔道場、剣道場はいずれも利用が多く、スポーツ拠点施設として中核となる機能であることと、これまで市民体育館と連携して担ってきた役割と規模は、今後の大牟田市のスポーツ需要の受け皿として必須であることから、全ての機能を複合化の対象とします。

#### 【複合化する機能】

##### ・アリーナ機能

総合体育館をメインアリーナ、多目的ホールの構成とし、第二体育館のアリーナ機能を多目的ホールとして整備します。

多目的ホールはメインアリーナの補助的な空間、第2アリーナとして独立した競技空間、他の運動空間や複合機能との連携する空間として適切な規模で整備します。

##### ・柔道場・剣道場機能

近年利用者が増加傾向にあり、一定数の利用が見込まれることから複合化の対象とします。市民体育館の柔道場、剣道場と複合化することで利便性が高まり、効率的な運用が期待できます。

---

## (2) 労働福祉会館

労働福祉会館は老朽化により施設の廃止が決まっていますが、地域の交流施設として会議・研修等の貸室は安定的な利用があり、特に需要の多い中ホール（200㎡）は規模的に他施設での機能分担が難しいため複合化の対象とします。

また、一般利用が多い中規模の会議・研修室機能は、総合体育館の付帯機能としても組み込まれる機能であり、需要に見合った効率的な運用を前提にできる限り確保します。

大ホールは、現在、倉庫利用となっているため複合化する機能からは除外します。

### 【複合化する機能】

#### ・中ホール機能（200㎡規模）

会議室を統合利用することで中ホールの規模を確保し、効率的な運用を行えるように整備します。

#### ・会議・研修室機能（研修室、会議室A・B 50～80㎡規模）

施設の複合化によりニーズが多様化することが予測されるため、目的別に適正な規模で運用できるようにフレキシブルに利用できる会議室を整備することで対応します。

---

### (3) サン・アビリティーズおおむた

障害者の文化活動やスポーツの振興及び健康の増進、障害者と市民との交流を図るための地域に根差したコミュニティ施設であり、市民の誰もが利用ができる施設となることで交流が生まれ市民の相互理解が深まることが期待できるため、次の主要な機能を複合化の対象とします。

また、諸室の利用用途を整理すると、総合体育館の多目的ホールや会議室等、基本的な施設の兼用化で対応可能な部分が多く、計画的な運用とフレキシブルな施設とすることで機能を確保します。

#### 【諸室別利用用途】(再掲)

室名	利用用途
アリーナ	バドミントン、フットサル、ソフトバレー、卓球、アーチェリー、車いすテニス、風船バレー、ビーチバレー、エアロビクス、ダンス、バトントワリング、ボール遊び、散歩
研修室	フォークダンス、スポーツダンス、太極拳、会議
音楽室	カラオケ、大正琴、詩吟
多目的室	サウンドテーブルテニス、体操、子供連れの遊び場
相談室	相談業務、会議

#### 【複合化する機能】

##### ・アリーナ機能

アリーナ機能は利用用途を整理し、目的別に多目的ホール、音響設備を整えた会議室等で兼用します。

##### ・研修室機能

多目的ホール、柔道場、剣道場、会議室で兼用します。

##### ・音楽室機能

防音仕様とした会議室等で兼用します。

##### ・多目的室機能

サウンドテーブルテニスは防音仕様とした会議室等で兼用します。

体操は多目的ホール、柔道場、剣道場、会議室等で兼用します。

子ども連れの遊び場は専用のキッズルームで兼用します。

##### ・相談室

会議室、控室で兼用します。



---

### 第3章 (仮称) 総合体育館の施設整備

#### 1. 整備方針

基本的な方針に基づき、競技・健康増進施設機能、地域コミュニティ施設機能、防災施設機能を複合化した総合体育館の整備方針を定めます。

#### (1) 競技・健康増進施設機能

##### ① メインアリーナ

- 公式規格のバスケットボールコート2面のレイアウトを基本とし、多目的な利用を考慮して49mX38m程度の規模とします。
- 天井高は、国際バレーボール連盟や日本バレーボール協会主催の試合の規格であるコートの表面から12.5m以上を確保します。
- 観覧席は、現在の市民体育館と同程度規模(924席)以上を設けます。
- トップアスリートによる試合開催の対応として、アリーナの仮設席を検討します。
- ウォーミングアップ等に利用できるランニングコースについては、今後の基本設計において検討します。
- メインアリーナに近接して、控室、会議室、医務室、放送室等を配置します。
- 控室は、規模の小さい会議・研修等にも利用可能な計画とします。

##### ② 柔道場、剣道場

- 市民体育館と第二市民体育館の柔道場、剣道場を統合し、計3～4面を設置します。
- 柔道場の畳は1面分を固定とし、その他はフレキシブルに利用可能な施設とします。
- 複合化による多様な利用ニーズに対応するために多目的利用を想定した分割・統合可能な空間とします。
- スポーツ活動の年齢層の拡大や多様化への対応として、フィットネスやダンスをはじめとする多様な健康増進のプログラムを展開できる多目的室として、防音仕様、音響設備を整えます。

##### ③ 卓球場 (多目的運動室)

- 特に需要が高い卓球場は、現況と同等規模程度(練習用12面)を整備します。
- 将来的な需要の変化や複合化による多様な利用ニーズに対応するために多目的利用を想定した空間とします。

---

#### ④ トレーニング室

- 競技選手の強化の施設として充実した機器を揃えるだけでなく、一般市民の健康増進の習慣化に向けて日常利用を想定し、健康・体力相談に対応できる規模のトレーニング室を整備します。

### (2) コミュニティ施設機能

#### ① 多目的ホール

- 障害者や地域の方々をはじめ、多くの市民が健康づくりなど様々な活動を通じて交流する施設とします。
- 小規模な運動や練習、ウォーミングアップなど、メインアリーナの補完的な役割を担う施設として多目的ホールを整備します。

#### ② 談話・交流・休憩スペース

- エントランス、ロビー、廊下は、様々な目的で集まる利用者の談話・交流・休憩スペースとして利用しても動線に支障がないよう十分な広さを確保します。
- スポーツ情報、市民活動の発表の場となる展示スペースなど、市民活動を支援するスペースを適宜設置します。

#### ③ 会議室・控室

- 市民や各種団体による活動・交流、各種イベント・大会運営時の利用など、幅広い用途で使用できる会議室・控室を設けます。
- 使用頻度を高めるために分割利用できる仕様とします。
- サウンドテーブルテニスなど音に配慮する活動に対応できるよう防音仕様とします。

#### ④ キッズルーム、授乳室

- 幼児連れの親子の利用に配慮して、利用者が幼児の様子を確認しやすい場所に設置します。
- 安全性に配慮した屋内遊具など、親子が集い交流しながら楽しく運動できる設備や器具を設置した専用室を設けます。
- 託児スペースとしての利用も想定します。
- キッズルームに近接して、授乳室を設置します。

---

### (3) 防災施設機能

#### ① 防災対応施設

- 指定避難所として、災害発生時の応急・復旧に必要な備品・資機材の保管する防災備蓄倉庫を設けます。
- 非常用自家発電設備の設置等は今後検討します。

### (4) その他機能

#### ① 事務・管理施設

- 受付、事務室、応接室、医務室、給湯室を設けます。

#### ② 更衣室

- 男女別に更衣室、シャワー室を整備し、車いす利用、親子利用にも配慮した、誰もが利用しやすい更衣室を整備します。

#### ③ トイレ

- 障害のある人や高齢者、乳幼児連れの人などに配慮したトイレを設けます。
- 多目的トイレは各階に設け、おむつ交換台、ベビーチェア、オストメイト対応設備等を整備します。

#### ④ 駐車場・駐輪場

- 最大必要駐車台数は周辺駐車場と連携することで確保し、敷地内には日常利用に必要な駐車台数のみ確保することで、利用の増減に柔軟に対応しつつ、公園整備の充実に配慮します。
- 大型バスの駐車場、車寄せスペースを設けます。
- 車いす利用者等の専用駐車場を設けます。
- 自転車やバイクの駐輪場を設けます。

#### ⑤ バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- 体育館を利用するすべての利用者にとって、安全で、分かりやすく、使いやすい施設とするために必要な施設整備を行います。

## 2.構造計画

総合体育館は多くの市民等が利用する施設であると共に、大牟田市地域防災計画では指定避難所として位置づけられています。総合体育館の担う役割に配慮しつつ、費用対効果の優れる特殊工法等の技術提案を視野に入れながら、構造計画を検討していきます。

## 3.設備計画

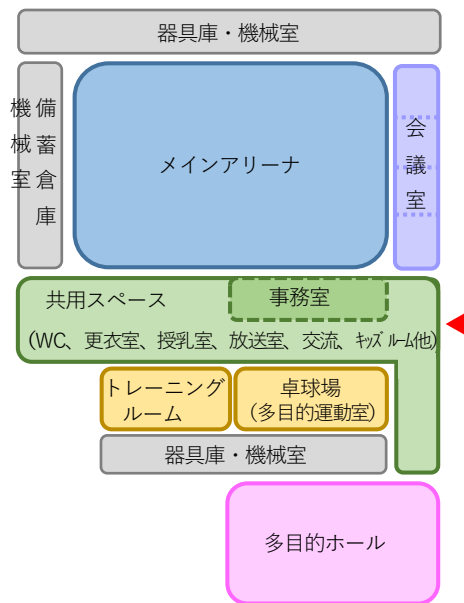
電気設備、空調設備、機械設備については、省エネルギー、環境保護、長寿命化、管理運営の容易さに配慮しつつ、イニシャルコスト、ランニングコストのバランスを最適化した計画とすることでライフサイクルコストの縮減に努めます。

## 4.機能構成と規模

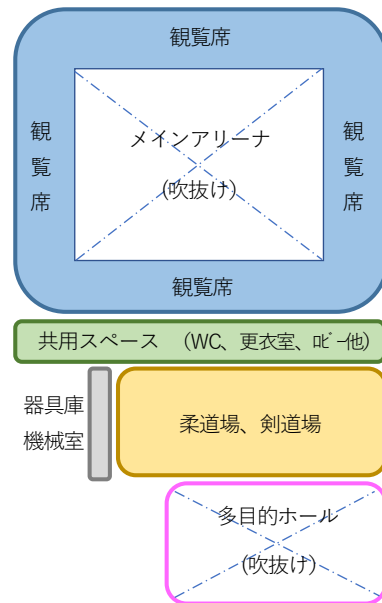
整備方針に基づき、トップアスリートによる公式大会の開催が可能なメインアリーナをはじめ、既存公共施設機能の複合化により、市民がスポーツや様々な活動を通じて集い、交流するスポーツ拠点施設を形成します。

### 【機能構成・配置案（参考）】

※機能配置は基本設計で詳細に検討します。



【1階機能配置イメージ】



【2階機能配置イメージ】

機能構成と配置をもとに総合体育館の床面積を想定すると、約 9,000 m<sup>2</sup>～10,000 m<sup>2</sup>となります。現在の市民体育館の床面積は約 6,300 m<sup>2</sup>ですが、複合化の対象となる第二体育館、サン・アビリティーズおおむた、労働福祉会館とあわせると約 12,000 m<sup>2</sup>となり、既存公共施設を集約・複合化することにより、既存と同等以上の機能を持ちながら床面積を縮減することが可能となります。



【外観イメージ】



【内観イメージ】

---

## 5.施設規模の検証

### 複合化に伴う縮減効果

現在想定している総合体育館の床面積（9,000㎡～10,000㎡）と、複合化前の各施設の床面積の合計を比較すると、約21～29%の縮減が期待できます。

#### 【面積比較表】

施設名	面積	備考
市民体育館	6,337 ㎡	
第二市民体育館	2,194 ㎡	
労働福祉会館	2,586 ㎡	複合化対象の床面積のみ（全体：3,299㎡）
サン・アビリティーズおおむた	1,483 ㎡	本建物、アリーナを含む
<b>既存共施設合計</b>	<b>12,600 ㎡</b>	
<b>総合体育館（案）</b>	<b>9,000～10,000 ㎡</b>	
<b>面積の縮減率</b>	<b>20.6～28.6 %</b>	

## 6. 施設配置の検討

### (1) 配置計画の与条件

- ・ 現市民体育館は、総合体育館開設まで運営を継続できるよう配慮します。
- ・ 総合体育館建設中は、工事ヤードを確保するため一般用駐車場は別敷地に確保します。
- ・ 市民体育館跡地は公園及び駐車場整備を基本として延命公園の機能を維持します。
- ・ 北側前面道路は、都市計画道路であることに考慮して整備を検討します。
- ・ 既存バス停機能は、道路整備と併せて検討します。
- ・ 周辺道路の渋滞緩和に配慮して、一般車両及び管理車両の出入口を延命球場側の1カ所に集約し、北側前面道路からの車両の出入りを無くします。
- ・ 公園内の既存神社、参道及び園路は現状を維持します。
- ・ 周辺施設への安全な歩行者動線を確保します。

### ●敷地利用イメージ（建設中）



## (2) 配置計画の検討

与条件と市民体育館跡地整備の方針を踏まえ、メインアリーナ、多目的ホール、柔道場、剣道場の配置、周辺施設との連携に配慮した動線計画などを主な観点として、3つのケースを想定し検討しました。

### 【配置検討比較表（参考）】

	A案：メインアリーナ北側配置案	B案：メインアリーナ南側配置案	C案：メインアリーナ北側配置、柔剣道場積層案
配置イメージ			
諸室配置計画の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナ、多目的ホール、柔道場・剣道場を全て1階に配置し、共用部を中心として効率的で分かりやすさに配慮した案。</li> <li>・北側にメインアリーナを配置するため、道路側から見た建物の圧迫感が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナ、多目的ホール、柔道場・剣道場を全て1階に配置し、道路側から見た建物の圧迫感が緩和されるよう配慮してメインアリーナを南側に配置した案。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地の造成範囲を抑えるため、柔道場・剣道場を2階に配置して、建築面積がコンパクトになるように配慮した案。</li> <li>・北側にメインアリーナを配置するため、道路側から見た建物の圧迫感が懸念される。</li> </ul>
ゾーニングの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地形状からサービススペース（搬入スペース）が必要なメインアリーナを北側に配置した。効率的なレイアウトとするために、中央部に多目的ホール、南側に柔道場・剣道場を配置しているが、北側前面道路のセットバックにより敷地南側の造成範囲が大きくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナのサービススペース（搬入スペース・管理用駐車場）へのアクセスが最もコンパクトにまとまる。</li> <li>・前面道路側に開かれた共用部となるが、他案と比較してお花見広場、園路側とのつながりが弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地の造成をできる限り行わずに、共用部を中心とした利用しやすく、分かりやすいレイアウトが可能となる。</li> <li>・2階に柔道場・剣道場をレイアウトすることで、効率的な利用を維持したまま建築面積が抑えられるが、一方で下階への振動対策について検討する必要がある。</li> </ul>
動線計画の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地中央部がエントランスとなり、各駐車場からアクセスがしやすい。</li> <li>・歩行者動線は敷地周囲に確保可能で、市民体育館跡地からお花見広場への歩行者動線の軸が確保しやすい。</li> <li>・メインアリーナに必要なサービス動線（搬入・管理用動線）の確保のため、敷地南側の造成について検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前面道路側がエントランスとなり、前面道路側に対して"建物の顔"を作りやすい。</li> <li>・歩行者動線は敷地周囲に確保可能だが、お花見広場、園路側へのつながりが弱い。</li> <li>・メインアリーナに必要なサービス動線（搬入・管理用動線）は最も効率よく確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地中央部がエントランスとなり、各駐車場からアクセスがしやすい。</li> <li>・2階に柔道場・剣道場を配置するため、動線はコンパクトとなるが上下の移動が発生する。</li> <li>・歩行者動線は敷地周囲に確保可能で、市民体育館跡地からお花見広場への歩行者動線の軸が確保しやすい。</li> <li>・建物周囲のサービススペース（搬入スペース・管理用駐車場）やサービス動線（搬入・管理用動線）の確保が、大きな造成を行うことなく可能となる。</li> </ul>

具体的な配置は、これらの案を参考に基本設計で検討を行います。



---

## 第4章 事業手法の検討

### 1. 事業スキームの検討

近年、公共事業を行政サービスの向上と効率的な行財政運営の実現を図る目的で、民間の施設整備や管理運営のノウハウ、資金調達やリスク管理の能力を活用しようとするPPP手法（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）の導入が増加しており、本計画でも一般方式と併せて導入を検討します。

#### ● 一般方式

施設の計画から財源確保、建設、運営まで公共が主体で行う事業方式。施設の完成後の管理運営業務は指定管理制度により行います。

#### ● ECI(Early Contractor Involvement)方式

一般方式を基本にしながら、基本設計段階から施工業者より施工・コストにかかわる技術提案及び価格提案を受け、実施設計の時に於いても施工者意見を計画に盛り込む手法です。完成後の管理運営業務は指定管理制度により行います。

#### ● DB(Design Build)方式

設計・施工を同一事業者に一括して発注することで、一般方式でいうところの仕様が固まる前に施工会社の持つ技術を導入することを目的とする手法です。完成後の管理運営業務は指定管理制度により行います。

#### ● DBO (Design Build Operate) 方式

行政が施設建設の資金を調達し、民間事業者に施設の設計・建設と管理運営を一括で担わせる事業方式です。

#### ● PFI (Private Finance Initiative ) 方式

調査、設計、建設、管理運営、売店等の独立採算事業などの運営業務を、公共と民間事業者との間で共同事業として一本化した「事業契約」の下で行う事業手法です。

各業務担当企業は当該事業のために設立した特別目的会社（SPC）との間で業務委託契約を締結し、契約期間である全事業期間にわたり業務を遂行します。

## 2. 事業手法の選定

事業手法の選定にあたって、施設整備、管理運営の各段階において、主として次の観点から各事業手法を評価した結果、DB（デザインビルド）方式が最も適切であると判断しました。DB方式で懸念となる設計意向の反映については、基本設計を別とすることで発注者としての意向を担保し、設計・施工分離方式と同様に設計者や発注者のチェックを活かせるよう配慮します。

### 【本事業における評価軸】

- ① 発注者の意向の反映しやすさ
- ② 計画的で円滑な事業推進
- ③ 事業費縮減に向けた創意工夫の活用
- ④ 指定管理者制度を活用した将来需要に柔軟に対応可能な管理運営体制の導入

### 【事業方式比較表】

事業方式	メリット	デメリット	評価軸				採 択
			発注者の意向の反映	事業計画の推進で円滑な	創意工夫の活用に向けた	事業費縮減に	
一般方式 設計・施工分離 +管理運営 分離発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者の意向を反映しやすく、設計の自由度が高い。</li> <li>工事施工発注の際に競争原理が働く。</li> <li>管理運営手法が5年間を基本とした指定管理になることから、更新時期において、より好ましい連携体制をその都度構築できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分離発注等工事発注の自由度は高いが、その場合、施工者間の協議や調整が必要。</li> <li>工事費や施工期間を適正に判断しないと入札不調になる恐れがある。</li> <li>コスト削減に向けた創意工夫の余地は比較的小さい。</li> <li>施設整備段階において運営事業者のノウハウを反映させにくい。</li> <li>費用対効果を重視する本市の体育館整備において、費用対効果の優れる特殊工法を排除せざるを得ない可能性がある。</li> </ul>	◎	△	△	◎	
ECI方式 設計・施工分離 (施工技術提案) +管理運営 分離発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工会社を早期に選定するため、実施設計後の発注業務や期間が縮減できる。</li> <li>コストに係る技術提案と価格提案を計画に盛り込むため、事業費の適正化が図られ入札不調を避けられる。</li> <li>設計時に施工者のノウハウを盛り込むことで、工期の縮減につながる可能性がある。</li> <li>管理運営手法が5年間を基本とした指定管理になることから、更新時期において、より好ましい体制をその都度構築できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者の意図と合わない提案が出る可能性がある。</li> <li>施設整備段階において運営事業者のノウハウを反映させにくい。</li> <li>費用対効果を重視する本市の体育館整備において、費用対効果の優れる特殊工法を排除せざるを得ない可能性がある。</li> </ul>	△	○	○	◎	
DB方式 基本設計 +実施設計・施工一括 +管理運営 分離発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般方式と比較して、設計業務と工事を一体的に発注するため、発注に係る業務負担や期間が縮減できる。</li> <li>設計の段階で施工会社の持つ技術を導入することができる。</li> <li>選定段階で設計・施工が同一の為、施工者のノウハウを反映したコストダウンが一般方式に比べ期待できる。</li> <li>管理運営手法が5年間を基本とした指定管理になることから、更新時期において、より好ましい体制をその都度構築できる。</li> <li>費用対効果を重視する本市の体育館整備において、費用対効果の優れる特殊工法の採用が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・施工を分離する一般方式と比較して、設計者や発注者のチェックが働きにくく、施工者側に偏った設計になりやすい。</li> <li>行政による実施設計開始後の変更対応が難しい。</li> <li>施設整備段階において運営事業者のノウハウを反映させにくい。</li> </ul>	○	○	◎	◎	●
DBO方式 設計・施工・管理運営 一括発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備段階から運営事業者のノウハウを活用できる。</li> <li>長期の事業期間になることから、管理、運営において計画的かつ魅力ある事業展開が期待できる。</li> <li>費用対効果を重視する本市の体育館整備において、費用対効果の優れる特殊工法の採用が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期契約となるため、管理運営体制に対する柔軟性に欠け、リスクを伴う。</li> <li>施設の整備運営等に公共の新たな意向を反映するためには協議となる。</li> <li>金融機関のモニタリングがないため、公共によるモニタリングがより重要になる。</li> <li>選択にあたってはVFM算定が必要になる。</li> </ul>	△	○	◎	○	
PFI方式 設計・施工・管理運営 一括発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政負担の平準化が図られる。</li> <li>施設整備段階から運営事業者のノウハウを活用できる。</li> <li>長期の事業期間になることから、管理運営において計画的かつ魅力ある事業展開が期待できる。</li> <li>金融機関により事業期間のモニタリングが行われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の手法と比較して事業スケジュールが長期間になる。</li> <li>施設の整備運営等に公共の新たな意向を反映するためには協議となる</li> <li>長期契約となるため、管理運営体制に対する柔軟性に欠け、リスクを伴う。</li> <li>早期の建替への必要性（特に安全性）がある中で、完成までに最も時間を要し、入札不調の場合さらに遅れる可能性がある。</li> <li>選択にあたっては、VFMの再算定などが必要になる。</li> </ul>	△	△	○	○	

---

## 第5章 施設管理運営の方針

### 管理運営の基本方針

総合体育館の管理運営においては、これまでの「する」「観る」「支える」スポーツをそれぞれ更に充実させると共に、市民の健康づくりやスポーツのきっかけづくりなどをこれまで以上に展開させる必要があります。また、複合化に伴う障害者の文化・スポーツ活動の拠点機能に加え、更には延命周辺地域の活性化に寄与するような魅力ある施設としての運営が重要となります。

そのためには、医療や福祉、観光など様々な関係団体との連携をこれまで以上に深めながら、多様なニーズに柔軟に対応し、良質なサービスの提供ができるような管理運営体制の構築について指定管理制度を基本に今後も検討を進めます。

## 第6章 事業計画

### 1. 概算工事費の算定

同類の総合体育館の事例や昨今の資材費、人件費の高騰が影響している近年の事例から工事単価を530,000円/m<sup>2</sup>（税込）と想定します。この単価で概算建設費を算出すると、建物本体工事費はおおむね50億円（税込）と想定されます。（建物本体工事以外に、外構工事費や備品購入費等の費用が必要となります）

※非常に多額となる事業費であることから、本市の財政負担を最小限にする為、財源の確保と共に今後進める設計段階においても管理運営費も含めたトータルコストの縮減に向けた取り組みを進めます。

### 2. 財源の整理

建設費の財源は、社会資本整備総合交付金である「都市再生整備計画事業（国土交通省）」、「過疎対策事業債（総務省）」を活用し、市の財政負担を軽減します。

#### 【都市再生整備計画事業とは】

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを支援し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的としています。

#### 【過疎対策事業債とは】

過疎対策事業債は、過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）により、過疎地域に指定された市町村が、過疎地域自立促進市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債です。

### 3. 事業スケジュール

令和2年度に基本設計を開始し、令和3年度後半までを設計期間、令和3年度末から工事着工、令和5年度中の竣工を目指します。

#### 【DB方式の事業スケジュール（予定）】

手法	令和2年度（2020年度）												令和3年度（2021年度）												令和4年度（2022年度）												令和5年度（2023年度）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
DB 方式	基本設計												事業者公募												実施設計												建設											
	仕様書作成 ・準備等																																															

## 第7章 体育館周辺整備の方針

### 1. 市民体育館跡地整備の方針

予定地である延命公園は、総合体育館の整備と併せて地域の魅力づくりに取り組み、交流人口を増加させるなどの活性化が不可欠です。その為、市民体育館の跡地は別途定める「延命公園基本計画」に基づき、公園施設や駐車場等の整備を進めることとします。

### 2. 周辺道路・駐車場整備の方針

#### (1) 敷地周辺道路の整備方針

敷地周辺道路及び敷地への車両のアクセスについて、地域の良好な住環境を害することがないように総合体育館の利用に伴う渋滞を発生させない計画を検討します。

北側前面道路は、体育館整備に併せて前面道路を拡幅し、延命公園前交差点を改良することなどを検討します。また、敷地への車両のアクセスを東側市道からとすることで、北側前面道路の交通を阻害しない計画とします。

#### 【周辺道路整備の方針】



## (2) 駐車場整備の整備方針

市民体育館跡地は、延命公園の更なる魅力向上に向け公園機能の整備が必要ですが、より効率的な敷地活用を図る為、必要駐車台数の全てを敷地内に集約せず、周囲に分散して確保することで、出来る限り敷地内に公園スペースを確保する方針とします。

### ① 必要駐車台数の算定

総合体育館の利用に伴う必要駐車台数を全国規模のトップレベルのスポーツ大会の開催時の実績より検討します。また、利用者の利便性に配慮し、通常利用時に必要な駐車台数を既存施設の利用状況から算出し、総合体育館に近接して設けます。

#### 【全国規模のトップレベルのスポーツ大会の開催時の必要駐車台数】

期 日	大会・競技名	開催場所	開催形式	参加者・観客数 (人)	乗用車換算(3人/台) (台)
H25.3.23	V・プレミアリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	2,500	833
H26.3.9	第16回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,350	450
H27.12.13	第17回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,704	568
H28.12.18	第18回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,849	616
H29.1.20	第19回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,507	502
H30.12.8	第20回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,422	474
R1.10.27	第21回Wリーグ大牟田大会	市民体育館	1日	1,734	578

継続的に開催されている女子バスケットボールWリーグの大会時は、1,300人～1,700人の来場者数で推移していますが、平成25年の女子バレーV・プレミアリーグ大会時は2,500人の来場者がありました。今後、総合体育館の整備により、V・プレミアリーグ等の集客力の高い開催の可能性にも配慮する必要があることから、大規模大会開催時に必要な駐車台数は500台～850台とします。

#### 【既存施設の利用状況に基づく必要駐車台数】

(H.30年度データ)

施設名		月最大利用人数 (人/月) ㉔	日最大利用人数 28日(人/日)㉕	自動車分担率 ㉖の70% (台)	乗用車換算率 2人/台 (台)	平日利用回転数 3回転/日 (台)			
市民体育館		12,293	439	689	345	115			
第二体育館		5,652	202						
サン・アビリティーズ おおむた	アリーナ	4,997	178						
	会議室	1,608	57						
労働福祉会館	中ホール	1,685	60						
	研修	950	34						
	会議室A	218	8						
	会議室B	107	4						
合計		27,510	983						

複合化を想定している各施設の利用者数の状況から、総合体育館に近接して配置する日常利用に必要な駐車台数を算定するとおおよそ120台となります。

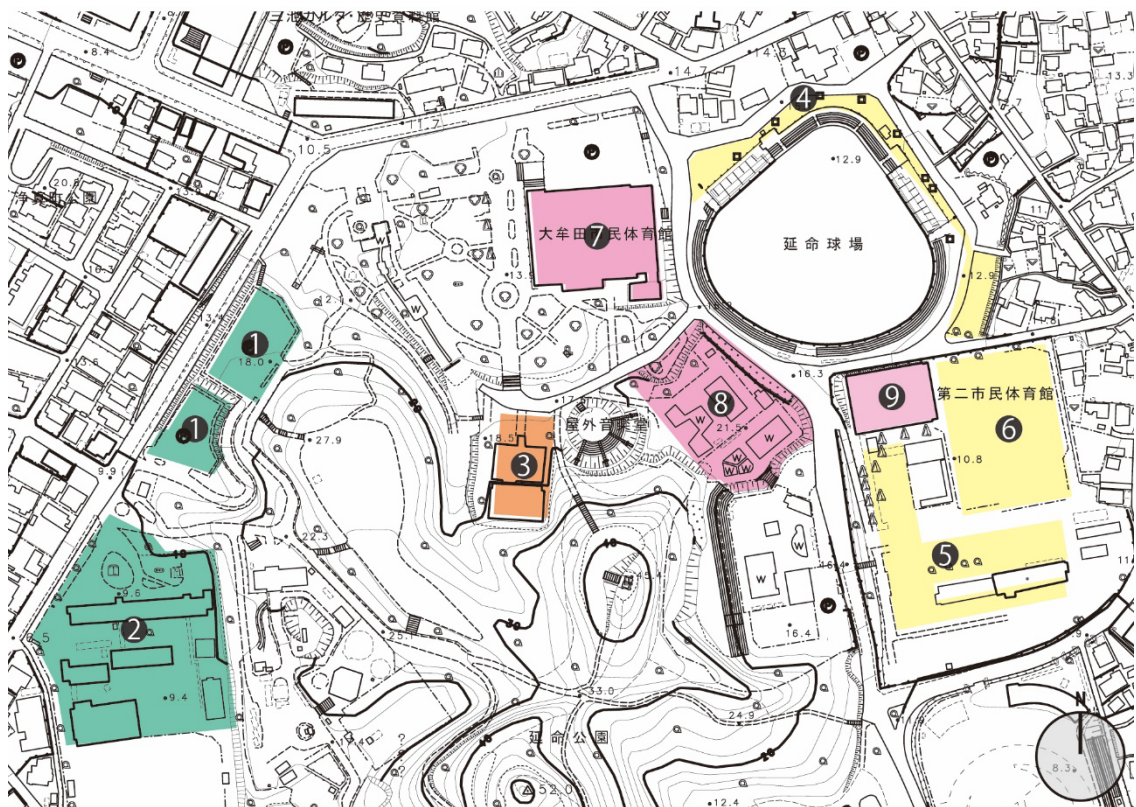
## ② 駐車場の配置方針

必要駐車台数の算定結果をもとに、総合体育館利用の必要駐車台数は最大 850 台、体育館に近接して整備する日常利用の駐車台数を 120 台と想定します。

現況より増加した駐車台数は、既存の延命球場駐車場、第二グラウンド駐車場、生涯学習支援センター駐車場に加え、新たに徒歩プール跡地、第二市民体育館跡地を体育館利用者用の駐車場と想定しながら今後検討を進めます。また、動物園をはじめ、球場や記念グラウンドでのイベントが重なった場合は明らかな不足となる為、臨時駐車場の配置など、それぞれの運営において考慮することが必要です。

【駐車場位置図】

駐 車 場	利用対象	単位 (台)	
		普通車	バス
① 大牟田市動物園※動物園利用者用として台数は含めない	動物園利用者	(60)	(13)
② 旧延命中学校跡地駐車場	動物園利用者	(275)	-
③ 延命公園中央駐車場	公園利用者	(91)	-
④ 延命球場	スポーツ施設利用者	80	-
⑤ 生涯学習支援センター(延命庁舎)	スポーツ施設利用者	250	10
⑥ 第二グラウンド	スポーツ施設利用者	270	-
⑦ 市民体育館跡地 (予定)	総合体育館利用者	120	8
⑧ 徒歩プール跡地 (予定)	総合体育館利用者	100	-
⑨ 第二市民体育館跡地 (予定)	総合体育館利用者	70	-
延命公園エリア 駐車場合計 (計画含む)		1316	31
総合体育館 利用可能駐車場合計 (計画含む)		890	18



## **(仮称) 大牟田市総合体育館整備基本計画**

---

**2020 (令和 2) 年 3 月 策定**

発 行 **大牟田市**

編 集 **市民協働部スポーツ推進室**

〒836-0872 大牟田市黄金町1丁目3-4

TEL : 0944-53-1503 FAX : 0944-41-2210

ホームページ **<https://www.city.omuta.lg.jp/>**

---